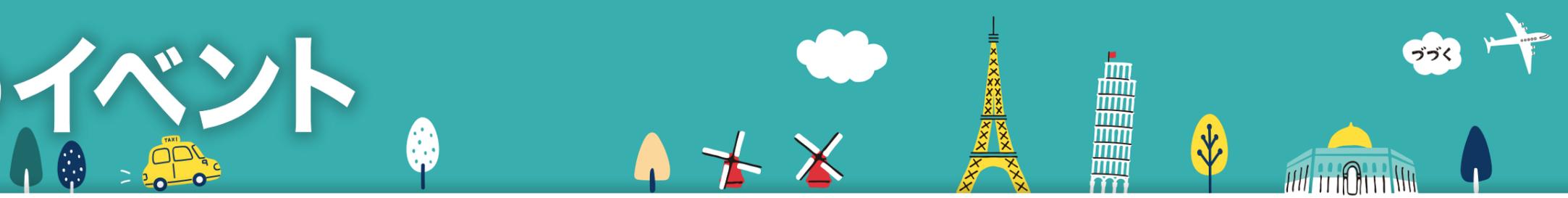




# 海外のイベント

2024.03～2024.12



**March**  
**3**  
16日  
オランダ / アルクマール

## メノナイト教会で パレスチナとイスラエルの 平和のための祈りの集会参加

この日オランダ全土の31のメノナイト教会でリレー形式の平和のヴィジルが行われ、アルクマールの教会では「希望の火」に祈りを込めました。



29日  
オランダ / アルクマール

## 異宗教合同 ピーストークに参加

世界中に大きな緊張と分断を引き起こしたハマスとイスラエル間の戦争を受けて、アルクマールでは市長(写真中央)の呼びかけで、異なる宗教や社会文化背景をもつ人々の共生の道を探る対話のグループがスタート。



**May**  
**5**  
5日  
イスラエル / ラマト・ハシャロン、  
ダールケイ・ノアム会堂(シナゴグ)

## ホロコースト記念日の追悼式

セレモニーのキャンドルに「希望の火」が灯されました。また、第二次世界大戦の生存者の一人であり、Hope80の代表であるエスター・エヤル・ソルスキー氏による戦争の証言も行われました。



**June**  
**6**  
26～30日  
イギリス / グラストンベリー

## グラストンベリー音楽祭に参加

希望の火とアミナダブ、そして 希望の火のイスラエル・パレスチナ合同平和使節団が、世界最大規模の野外音楽祭グラストンベリー・フェスティバルに参加しました。



**July**  
**7**  
5～8日  
イスラエル / ガアシュ  
シュレイドマン・カレッジ

## タオ指圧の入門と 「希望の火」のワークショップが 開催されました

りょうきゆうさんとまゆさんによるタオ指圧ワークショップ。イスラエルのさまざまな学校から集まった4日間の集中ワークショップ。約70名の指圧実践者(学生、セラピスト、教師を含む)が参加。参加者はTSの真髄を体験しFOH(最終日にはHOPE80も)の入門コースを受講しました。



27日  
アメリカ合衆国/ウィスコンシン州・マディソン

## アトウッドフェストパレードでの 「希望の火」

パレードに「希望の火」が参加しました。



**August**  
**8**  
5日  
カナダ / モントリオール

## 「希望の火」 チャールボア橋公園での チャリティー指圧

2024年の夏の間、「希望の火」タオ・サンガ・モントリオールチームは、希望の火の支援プロジェクトのため、一般向けにタオ指圧の施術を寄付金制で提供しました。集まったすべての資金は、地元の希望の火と国際的な支援プロジェクトに充てられました。



5日  
カナダ / モントリオール

## モントリオール 平和記念式典に出席

希望の火の使節団は、モントリオール植物園で開催された広島と長崎への原子爆弾投下から79周年の平和記念式典に出席しました。



7～9日  
アメリカ合衆国 /  
ミズーリ州・インディペンデンス  
大統領子孫協会(Society of Presidential Descendants)  
ハリリー・S・トルーマン大統領図書館・博物館

## 大統領子孫協会主催 「希望の炎」贈呈式

「希望の火」プレゼンテーション:〈希望・レジリエンス・ユーモア〉を開催しました。子孫たちと共に館内ツアーを行い、トルーマン大統領の遺産と、指導者としての不屈の精神や価値を改めて讃えました。



8日～12月まで  
パレスチナ / ガザ、カンユニス、テルアルバラ

## 水供給と人道支援プロジェクト

イスラエルとガザ間の長期にわたる戦争は、ガザで大きな人道的危機を引き起こしています。フサム医師とガザの同僚アハメドと共に、8月から12月末までに、水、衣類、その他の必要な物資、そして教育支援を提供しました。



15日  
オランダ / アルクマール

## アジア終戦合同追悼式

静かで緑豊かな植物園で、アジアにおける第二次世界大戦と、過去と現在のすべての戦争の犠牲者が追悼されました。同時に、異宗教合同声明とともに世界平和の祈りを「希望の火」に込め、また各自ができることについて静かに考える時間をもちました。

